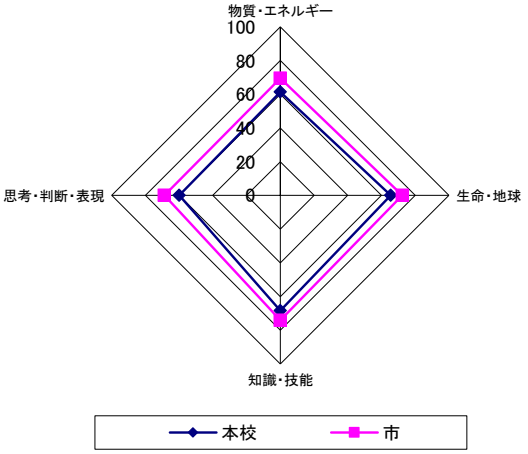
宇都宮市立宝木小学校 第６学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	61.3	69.5	65.2
	生命・地球	65.5	72.3	70.1
観点別	知識・技能	68.4	74.0	70.7
	思考・判断・表現	59.9	68.7	65.5

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	本校の平均正答率は，市の平均より低くなっている。 ○実験結果から水溶液の種類を推測する問題や,水に溶けた食塩やミョウバンを取り出す方法を指摘する問題の正答率は,市の平均正答率とほぼ同程度である。 ●もののとけ方を調べる実験の誤りを指摘する問題や,コイルの巻き数と電磁石の強さの関係を説明する問題の正答率が,市の平均正答率を大きく下回っている。	・実験の目的や実験で得られた結果を言葉で表現することが苦手な傾向が見られるため，実験の結果をグループの友達と分析させたり結果のまとめを自分なりに言語化させたりする活動を数多く取り入れることで，科学的な表現力を高められるようにしていく。
生命・地球	本校の平均正答率は，市の平均より低くなっている。 ○流れる水の量が増えたときの水の速さの変化や，食物連鎖の関係など，基礎的な知識に関する問題の正答率は，市の正答率と同程度である。 ●山の雨量と川の水位の関係をグラフから読み取ったり，ダイコンを保存する際に茎や葉を切る理由を説明したりするなど，既習事項と結び付けて考える問題の正答率が，市の平均正答率を大きく下回っている。	・天気予報や日常生活における事象などを学習活動の中で取り上げることで，理科の学習で得られた知識が様々な場面で生かされていることに目を向けさせる。